

図書だより

1月

田原本町立北中学校
令和7年1月31日
第7号

今年の本 ベストセラーランキング

3学期が始まり、寒い日が続いています。図書室ではストーブをつけて皆さんの来室をお待ちしています。

さて、情報会社オリコンは11月27日付で、今年の本のベストセラーランキング（一昨年11月20日～昨年11月17日集計）を発表しました。みんなは話題の本をどれだけ読みましたか？

「変な家」「変な絵」シリーズは、ビブリアバトルもたくさん紹介されていました。図書室でも借りる人が一番多かったです。まだ読んでいない人がいれば、この機会にぜひ読んでみてください。3位の「成瀬は天下を取りに行く」も「成瀬は信じた道をいく」も図書室にありますので、ぜひ読んでみてくださいね。

順位	ベストセラー上位10作	出版社
1	変な家2 11の間取り図	飛鳥新社
2	大ピンチずかん2	小学館
3	成瀬は天下を取りに行く	新潮社
4	大ピンチずかん	小学館
5	変な家	飛鳥新社
6	変な絵	双葉社
7	頭のいい人が話す前に考えていること	グイェント社
8	TOEIC L&R TEST 出る単特急 金のフレーズ	朝日新聞出版
9	パンどろぼうとほっかほっか	KADOKAWA
10	パンどろぼう	KADOKAWA



今月のおすすめ



地雷グリコ／青崎 有吾(角川書店単行本)
射守矢真兔(いもりや・まと)。女子高生。勝負事に、やたらと強い。
平穏を望む彼女が日常の中で巻き込まれる、風変わりなゲームの数々。罠の位置を読み合いながら階段を上ったり(「地雷グリコ」)、百人一首の絵札を用いた神経衰弱に挑んだり(「坊主衰弱」)。次々と強者を打ち破る真兔の、勝負の先に待ち受けるものとは——ミステリー界の旗手が仕掛ける本格頭脳バトル小説、全5篇。

本を読もう！

2023年度の国語世論調査では、1月に読む本(電子書籍を含む)雑誌・漫画は除く)の数が、前年より約15.3%増えた。このうち75.3%が、交流サイト(SNS)やインターネット記事など本以外で情報

を読む頻度が「ほぼ毎日ある」と回答。文化庁担当者(紙電子媒体を問わず)双方の利点を踏まえて活用し、文字や活字に触れる機会を今後も維持し増やすことが大事だ」としている。

電子書籍を普段「利用する」としたのは40.3%で、前年より15.1%増えた。このうち

6%で最も多く、年齢が低いほどその傾向が高かった。読書量が「増えている」と回答した5.5%のうち、18.6%が「電子書籍が手に入れやすく、読みやすくなった」ことを理由に挙げた。

読書に関する調査は、08年度から5年おきに実施している。

初めの半数以上、過去最多

情報機器使用で減少

本「読まない」6割超

ち紙の本・雑誌・漫画と、電子書籍のどちらを利用する)とが多いかという質問に「電子書籍」と回答した人は前年から13.9%増の48.4%で約半数となった。

読書量の変化では、過去最多の69.1%が以前に比べて「減っている」と答えた。理由(複数回答)は「情報機器で時間が取られること」した人が43

ある日の新聞記事です。とても残念に思いました。読書は語彙を豊かにし、表現力も向上させます。情操を刺激し、感性を磨きます。多くの知識を身につけることができ、人間性も育みます。みなさんには、ぜひたくさん読書をしてほしいと思います。

11月の多読賞

順位	1年生	冊数	順位	2年生	冊数	順位	3年生	冊数
1		6	1		18	1		3
2		3	2		12	2		2
3		3	3		7			
			4		6			
			5		4			
			6		2			



12月の多読賞

順位	1年生	冊数	順位	2年生	冊数	順位	3年生	冊数
1		4	1		14	1		3
		4	2		5			
					5			
					5			
			5		4			
			6		3			
					3			
					3			

